

魅力伝播案内並びに報告

【今年の入会者数10名
正会員数 71名】

青年会議所（JC）とは、「明るい豊かな社会」の実現を理想とし「奉仕、修練、友情」の三信条として様々な事業や運動を行っている二十歳から四十歳までの青年経済人の集まりです。

メンバーはこの限られた時間の中で次代のリーダーを志す責任と自覚を持ち、地域の為に、そして自己の成長の為に日々活動しています。乙訓の未来を創る為に夢を語り合い、誇りを繋いでいく仲間として、共に活動して頂ける方を乙訓青年会議所では随時募集しております。

ご興味のある方は公益社団法人乙訓青年会議所事務局（〇七五―九五七―一二三〇）までご連絡下さい。お待ちしております。



第7回 JC 説明会

8月1日（月）向日市商工会館3階にて、魅力伝播委員会が担当する第7回 JC 説明会が開催されました。

4名の入会候補者の方々に来て頂き、魅力伝播委員会、中路委員長の趣旨説明から始まり、乙訓青年会議所がどのような活動をしているのか、分かりやすくスムーズな流れ、終始穏やかな流れの雰囲気の中で行われました。乙訓青年会議所の魅力が伝わり、志を持った仲間が1人でも増える事を祈願致します。

新入会員報告



しまだ つよし
嶋田 剛
生年月日 1985年12月5日
趣味 買い物、スノーボード、エレキベース

40歳までに、諸先輩方に多く頂戴するであろう有難い助言を活かし、身に付け、40歳になった時には現在の尊敬する諸先輩方のような礼儀ある格好良い大人になりたいです。

そして、JC という場で様々な年代の方々と親交を深めていたい所存です。

また、JC で培った地域振興の精神と社会人としての礼儀を仕事の面でも活かし、地域に根差した企業を築いていたいと考えております。

明るい未来社会の創造



ニチコン株式会社
武田 一平 会長

公益社団法人乙訓青年会議所
第三十七代理事長
松宮 吾朗

松宮理事長「この大きな企業であるニチコン株式会社の会長をされるまでの経緯やターニングポイントを教えて頂けますか。」

武田会長「私は横浜で生まれ育ち、海外に携わる仕事が出来たいと思い現

在のニチコン株式会社に入社しました。その当時の創業者との直接面談の際、年功序列の無いこの会社に魅力を感じ、外見でなく中身が大切だ、という信念を創業者に伝えました。その場で自身の見えていなかった部

分を指摘され、創業者に感銘を受け『誠心誠意』信念を持ち積極的に邁進していこうと心に誓いました。乙訓青年会議所も理念を持って活動されていますが、我々の会社も『環境に優しく人

今月の乙訓のイベント

「竹の里・乙訓」と「もうひとつの京都」を結ぶ
大物産展 + 激辛ワールドフェス」

京都縦貫自動車道の全通や新名神の整備などの社会基盤が整いつつある中、交通の要衝地かつ大消費地である乙訓地域において、そのポテンシャルを最大限に活かした物産展を開催し、府内各地の交流と賑わいを創出する。

- ・日時：9月22日（木・祝）9:30～16:30
- ・会場：京都向日町競輪場（京都府向日市寺戸町西ノ段5）
阪急電鉄（京都線）「東向日駅」下車。徒歩約15分
JR京都線（東海道線）「向日町駅」下車。徒歩約20分
駐車場3ヶ所あり（831台取容可能）



「竹の里・乙訓」と「もうひとつの京都」を結ぶ大物産展+激辛ワールドフェス運営事務局

TEL：070-5345-3609 FAX：075-231-5476

主催：乙訓・商工観光協議会

（向日市・長岡京市・大山崎町・向日市商工会・長岡京市商工会・大山崎商工会・向日市観光協会・長岡京市観光協会・京都府）

主催：人の輪・虹の輪・みんなの輪 桂川流域クリーンネットワーク

次回例会案内 2016年9月4日（日）開催

乙訓DREAMフェスタ

会場：天王山夢はたる公園（乙訓郡大山崎町字門明寺小字一丁田18）

後援：向日市、長岡京市、大山崎町、向日市教育委員会、長岡京市教育委員会、大山崎町教育委員会

地域諸団体：16団体

乙訓地域に住まう皆様が活気に満ち溢れた乙訓の実現に向かって頂ける夢のある事業を行い、市民・行政・地域諸団体が三位一体となり、市民主導型社会へ繋げていくと共に愛郷心を育てる事を目的として開催します。

お問い合わせは、
乙訓青年会議所事務局（075-957-1230）まで



31	30	29	28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	9月	
	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	9月	
			まちづくり委員会		魅力伝播委員会				総務財政委員会	資質向上委員会	青少年育成委員会	JC運動発信委員会				第九回理事会		青松会（予定）						渉外交流委員会	乙訓JC説明会	九月例会・乙訓ドリームフェスタ・文化少年団			FTセミナー事前説明会（予定）			乙訓JC
				えほんのひろば		子どもエコ教室「里山たんけんいごころ」								子どもの広場	市民教養講座「シニア世代のためのスマートフォン講座」	子どもの本を読む会						名月の宴										行政・他団体

CONTENTS

- 2 8月例会
- 3 文化少年団 キャンプ
- 3 地域応援隊

の役に立つ製品を提供する』『明るい未来社会を創り出す』『その製品を作る仲間が人を大切にしている』『乙訓青年会議所の皆様が、色々な人と交流し自己研鑽や地域に貢献する事は素晴らしい事だと思えます。是非、活発に活動して頂きたいと思えます。日本を良くする為の原点は、まず身近な地域を良くする事が大切です。』

松宮理事長「現在、武田会長は乙訓地域にお住まいだとお聞きしましたが、何故乙訓地域を選ばれたのですか。」

武田会長「海外から帰ってきて本社勤務になり京都市内を探していましたが、長岡天神と言う名前に惹かれ調べてみると、京都、大阪からも近く交通のアクセスも良く、歴史、文化、自然も素晴らしいまちだと思え、現在も長岡京市に住んでいます。」

松宮理事長「私達も乙訓の地域で活動している団体ですが、武田会長から乙訓地域の現状はどの様に思われますか。」

武田会長「縦貫道、京滋、バイパス、名神も開拓され、非常に利便性が良くなりました。そして、地域の子ども達が遊べる環境もあります。また、高齢化社会になってきている中で安心、安全に住めるまちだと思います。乙訓青年会議所の方々も、地域で老若男女の人達が絶えず笑顔でいられるまちづくりを目指して活動して頂きたいですね。笑顔溢れ

る地域になれば自然とそこには人が集まってくると思います。人が集まれば活力も出てきますから。」

松宮理事長「その通りだと思います。地域の子ども達を集めた事業もしていますが、これからは高齢者の方々との交流も深めていきたいと思っております。」

武田会長「それは素晴らしい事だと思えます。私自身、様々な団体の会長や理事もさせて頂いておりますが、微力ながら地域に貢献出来ればなと思っております。」

松宮理事長「色々とお話しを頂戴し誠に有難うございます。最後に今後、地域の為にどの様な思い出取り組んで行かれるか教えて頂けますか。」

武田会長「我々も理念を持ち、社会や人に貢献しようと思っておりますが、これからの時代は資源や環境に配慮していかねばなりません。明るい未来社会を目指し、我々の再生化エネルギー等の製品で乙訓地域の明るい未来づくりの一貫を担う位の気持ちで取り組んで参ります。」

後半に向け新たなスタートを切る

八月例会

八月十一日(祝・木) 京都府庁 旧本館にて、渉外交流委員会担当の八月例会、また、京都ブライトンホテルにて納涼会が開催されました。

八月例会では、議会の様式に則って松宮理事長に議長として進行して頂き、各委員会の上半期に行った事業を振り返り、何を目的としたの様な結果であったかを検証し、それに対し良かった点と改善策、下半期に向けての意気込みをまちづくり委員会からは達城委員、J・C運動発信委員会からは厚東幹事、総務財政委員会からは藤田委員、資質向上委員会からは宮下委員、魅力伝播委員会からは山脇委員、青少年育成委員会からは石井委員、渉外交流委員会からは村中幹事が発表されました。また、

各委員会の発表の後、全メンバーで採決を行い、賛成をもって提案された上半期の検証と下半期への意気込みを確認し、今後のJ・C活動への意識向上に繋がりました。そして、その後に選挙管理委員会より次年度の理事選挙の結果が発表されました。

納涼会では、京都ブライトンホテルに場所を移し、各委員会から選出されたメンバーが登壇し乙訓J・Cクイズ等の様々なアトラクションを通して更に懇親を深める事が出来ました。

この八月例会・納涼会を通して、下半期に向けメンバー全員が今一度鋭気を養い、一丸となって活動出来ると共に、更にメンバー同士の絆が深まった素晴らしい事業となりました。



文化少年団事業

乙訓文化少年団



開催されました。

一日目は、文覚ふれあい公園に到着後、流し素麺台セットを作り、全員で流し素麺を楽しみました。全員で片付けをした後、ドッチボールとゴーカートをし、ゴーカートを初めてする子ども達はとても楽しんでいました。十六時からカレー作りを開始し、高学年の子ども達は低学年の子ども達に野

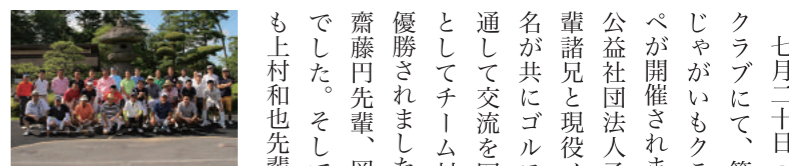
キャンプ

八月六日(土) 文覚ふれあい公園にて青少年育成委員会担当文化少年団事業の一泊二日のキャンプが

菜の切り方を教えながら、和気藹々とした中でとても美味しいカレーを作る事が出来ました。そして、お風呂に入った後、夏の風物詩であるキャンプファイヤーと花火をし、大いに盛り上がりました。二日目は、十九時から全員で朝食にサンドイッチを作り食べた後、レクリエーションとしてスイカ割りや宝探しを行いました。広い公園の中で、子ども達は楽しみながら一生懸命宝物を探していましたが、このキャンプを通して、普段の文化少年団とは違いあまり話した事のない子ども達も二日間を共に過ごす事で協同性や道徳心を楽しみながら学ぶことが出来た事業になりました。

第三十五回乙訓J・C

じゃがいもクラブ



七月二十日(水) 亀岡カントリークラブにて、第三十五回乙訓J・Cじゃがいもクラブ例会ゴルフコンペが開催されました。快晴の中で、公益社団法人乙訓青年会議所の先輩諸兄と現役メンバー総勢三十四名が共にゴルフというスポーツを通して交流を図り、初めての試みとしてチーム対抗戦を行い、見事優勝されましたのは上村和也先輩、齋藤円先輩、岡村猛先輩のチームでした。そして、個人戦に於いては上村和也先輩が優勝されました。日頃、あまり接する事のない先輩の皆様と和気藹々としながら交流が図れた貴重な一日となりました。

乙訓DREAMフェスタ事前説明会

八月八日(月) 十九時より、長岡京市中央生涯学習センター六階創作室にて、まちづくり委員会担当の乙訓DREAMフェスタ合同事前説明会が開催されました。メンバー向けの説明が行われた後、地域諸団体との合同の説明会が行われました。総勢十六団体の地域諸団体の方々にお集まり頂き、まず、松宮理事長のご挨拶とまち

づくり委員会委員長の岩本委員長から事業目的と事業に対する想いが述べられました。そして、正田副委員長から内容の説明があり、三つの地域諸団体と各委員会が連携し、ブース出店や乙訓DREAMフェスタ当日の三分間PRTタイムをする為の、当日までのスケジュール調整や積極的な意見交換が行われました。地域諸団体の

方々は、とても協力的で市民主導型社会に向け地域の方々を連携し、明るい豊かな乙訓の実現の一端を担う乙訓DREAMフェスタを成功裏に終える為の貴重な一日となりました。



地域応援隊



全ては原点から始まる

⑨武田 悦子さん

非営利活動法人A・Kクラブの代表をされている武田氏はダンスを通して高齢者支援、障がい者支援、子育て支援などを精力的に取り組んでいます。その活動の原点となったのは以前勤めていた京都府乙訓保健所にさかのぼります。保健所では一般市民の生活習慣予防のための健康体操・精神障がい者の社会復帰に向けての健康づくりなど、健康運動実践指導者として、各事業に長年携わって参りました。しかし、保健所としての継続事業が不可能になり、その受け皿となるべく武田氏は一念発起して平成17年1月に法人格を取得しました。法人格を取得して10年以上が経過し、知事からも表彰されました。武田氏はそれを機に代表を退き後進に道を譲るそうですが、今後の活動にも注目です。

西国と京都を繋いだ歴史ある西国街道

西国街道は、京都の「東寺口」を起点として乙訓地域の二市一町を経て大阪の「摂津」へと抜ける古い街道です。古代より京から西国に向かう主要幹線道路であった為、紀貫之、豊臣秀吉、明智光秀、千利休をはじめとした多くの歴史上の人物が行き交った道でもあります。また、街道沿いには以前にもご紹介した離宮八幡宮、長岡京跡、勝竜寺城跡、向日神社などがありますので、歴史散策にもぴった

りです。平成4年に西国街道の道筋に古いたたずまいを残す家並みの景観を活かし、散歩道として整備されました。普段何気なく利用している西国街道ですが、歴史上の人物になったつもりで歩いてみれば、いつもとはまた違った景色が見えてくるかもしれません。



タネマキ

家族に元気を与えられるような活動がしたい。子ども達に「いいもの」を見極める目を養ってもらい、物を大切にすることを育てたい。失敗を恐れず取り組む気持ちを知ってほしい。未来を担っていく子ども達に生きる喜びを持ってほしい。と言う想いから、子育て世代の物を中心とした手作りの商品を、京都府向日市にある「まこと幼稚園」の園庭にて手作り市を発足された地域諸団体タネマキ。『お客さんにも 作る人にも いくつか咲く花の種を蒔けたら。』をテーマに「タネマキ」を通して、全ての人が笑顔になる事を願い日々活動されています。9月22日(木・祝)

13:00~15:00に2回目が開催されますので是非お立ち寄り下さい。



公益社団法人京都青年会議所の六十五周年記念式典・懇親会



七月二十八日(木) ホテルオークラにて、公益社団法人京都青年会議所の六十五周年記念式典・懇親会が開催されました。

約五百名のご来賓や特別会員の方々、姉妹青年会議所、府内各地青年会議所の多くのメンバーが出席され盛大な記念式典が開かれました。六十五周年の歴史ある振り返り映像が流れ、先輩諸兄が築き上げてこられた歴史と伝統に改めて感謝し、第六十五代理事長の徳

新たな人脈創りのきっかけとなる

異業種交流会

七月二十二日(金) 京都ホテルエミナース三階平安の間にて、J・C運動発信委員会担当の異業種交流会が開催されました。この異業種交流会は、青年会議所の枠を超えた新たな人脈づくり、情報や意見交換を通してビジネスに繋げるきっかけを作り出す。また、乙訓青年会議所の活動内容や運動の発信に繋げる事を目的に開催され、総勢一〇二名もの多くの方々に参加されました。大名刺交換会では、全ての方と名刺交換をし、テーブル席での食事歓談と立食でのフ

リートークタイムがあり、始めは緊張されていた参加者の方々やメンバーも徐々に打ち解け、和気藹々とした中で積極的な意見交換がなされました。その後に乙訓青年会議所のPRTタイムがあり、乙訓青年会議所の活動内容や運動を知って頂きました。この機会を次に活かし、ビジネスやネットワークの構築に繋げるきっかけとなる異業種交流会になりました。

